

## 進路だより



茨城県立那珂高等学校進路指導部

## 令和2年度の進路概況について

## ① 国公立大学合格2名

北見工業大学 工学部地域未来デザイン学科 (推薦)

釧路公立大学 経済学部経営学科 (推薦)

- ・コロナ禍の影響で首都圏の大学を避ける心理が働いた影響で、茨城大学には南関東や静岡県から (推薦入試段階から) 受験生が流入。県内の高校から合格しにくくなった。
- ・推薦入試は「自分が勉強したいこと」と「試験の難易度・内容・本人の適性」の条件を見極めながら、先生とよく相談したうえで志望校を選ぶことが大切。
- ・成否を決めるカギの50%は志望校選びに在り。
- ・基礎となるのは学力。そのうえで関心のある事柄については「読む・聞く・調べる」を重ね、さらに自分の足で外へ出てフィールドワークを実践しよう！



## ② 私立大学合格51名

亜細亜大学(1)、足利大学(2)、茨城キリスト教大学(9)、医療創生大学(1)、国際医療福祉大学(1)、国土館大学(1)、作新学院大学(1)、城西国際大学(1)、城西大学(2)、聖学院大学(1)、千葉商科大学(2)、つくば国際大学(5)、東京情報大学(1)、東北文化学園大学(1)、常磐大学(18)、日本大学(1)、流通経済大学(1)、麗澤大学(1)、和洋女子大学(1)

- ・近年首都圏の私大は文部科学省の指導によって定員厳格化・合格者の絞り込みが進み、難化傾向にあったが、コロナ禍の昨年度は東京の大学を敬遠する受験生が増え、上位大学を中心に易化した。
- ・いっぽうで、首都圏の周辺県の大学は志願者が増えて難化した。

## ③ 日頃から新聞や本を読む習慣を！

- ・与えられた知識を活用して、思考・判断しながら情報をまとめ、時にはそれを他者へ向けて表現する能力が大切になってきている。
- ・ネット上の断片的で感情的な言葉や短文にばかり接していると、まとまった字数の文章に含まれている論理や人間の感情が読み取れなくなってくるので要注意。
- ・日ごろから新聞や書籍を読む習慣をつけることが大切。高校生には新書もお勧めですよ。



## ④ 公務員試験合格14名

茨城県小中学校事務(1名)、茨城県警察官(1名)、茨城県警察事務(1名)、那珂市消防(1名)、大子町消防(1名)、自衛隊一般曹候補生(5名)、自衛官候補生(4名)

- ・損得抜きで人の為に尽くす公務員の仕事は、那珂高生の気質に合っていると思います。
- ・合格した先輩たちは、部活動をやりながらも、早い時期から試験の内容をよく調べて対策を立てていた。
- ・茨城県警察には過去4年間で10名の先輩が合格している！英検2級、柔剣道2段以上は一次試験から加点。
- ・公務員試験は受けられるだけ受ける。これが鉄則！



## ⑤ 民間企業内定23名 内定率100%

青山製作所(2)、イリソ電子工業(3)、NTTエレクトロニクスコプロ(1)、カバヤ食品(1)、キャノンモールド(1)、ケーズホールディングス(2)、JRステーションサービス(2)、JR水戸鉄道サービス(1)、(社)木犀会(1)、ニチイ学館(1)、東日本旅客鉄道(1)、日立オートモティブシステムズ(1)、日立物流(2)、(社)北養会はなみずき(1)、丸善(1)、満景(1)、山崎製パン(1)

(下線は東証一部上場企業)

- ・早期からSPI試験の対策をしよう。これができないと受からない。他校生に勝つためにも…。
- ・前年に引き続き、全国展開している一部上場企業、優良企業に内定した先輩が多かった！
- ・事務職の求人は非常に少なかった。女子も多くの生徒が現業職(工場などでの製造)に就業している。